



探訪 長門のい（おみ）⑮

金子みすゞ詩碑

王子山

公園になるので植えられた、桜はみんな枯れたけど、

伐られた雑木の切株にや、みんな芽が出た、芽が伸びた。

木の間に光る銀の海、

わたしの町はそのなかに、竜宮みたいに浮かんでる。

銀の瓦と石垣と 夢のやうにも、霞んでる。

王子山から町見れば、わたしは町が好きになる。

干鰯のほひもこ、へは来ない、わかい芽立ちの香がするばかり。

この碑は、青海島・八王子山の頂上、仙崎の町が一望のもとに見渡せる位置にある。昭和62年（1987）の建立。

みすゞの詩512編は、すべて下関で創作したものであるが、その題材は、彼女が生まれ育った仙崎のものが多い。故郷のうるわしい人情や、自然が忘れられなかつたのであろう。「王子山」は、「弁天島」「波の橋立」などと共に、みすゞが選んだ「仙崎八景」のなかの一つである。

やさしく、心に響くみすゞの詩は、小学校の国語の教科書にも取り入れられるようになった。長門市では、「わたしと小鳥とすずと」を掲載した教科書（三年生用）を採用している。

（正）



寄稿・長門市郷土文化研究会

秋の全国火災予防運動

11月9日（119番の日）から11月15日までの7日間、全国一斉に「秋の火災予防運動」が実施されます。

この時季は、空気の乾燥する日が多く、またこれから先、寒さも厳しくなり、暖房器具の使用も増えることから、火災が起りやすくなります。火気を使用する場合は、周囲に燃えやすいものはないか、よく確かめその場を離れないように心がけましょう

「火をつけた あなたの責任 最後まで」



火災時の問い合わせは

☎ 22-1414

長門地区消防本部・中央消防署

☎ 22-3111